

幸手市ステーションギャラリー過去の展示作品

展示期間

令和4年8月1日 ~ 令和4年8月31日

団体名

埼玉県立幸手桜高等学校

作品名

幸手桜高等学校の10周年行事資料

団体の紹介

埼玉県立幸手桜高等学校は、令和4年6月に開校から10年を迎える節目の年になります。平成25年4月に、前身となる幸手商業高校と幸手高校の教育財産を引き継ぎ、「幸手桜高校」が開校しました。開校から今日に至るまで、地元幸手市をはじめ地域の皆様の御支援のおかげで充実した教育活動が行われております。今回は、本校の10周年記念資料室に飾ってある資料・作品を御披露させていただきます。今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

昭和50年代の授業



昭和50年代の授業は、先生が黒板に向かって話している様子や、生徒たちが机で勉強している様子などが描かれています。

栗橋町大根川、決壊



栗橋町大根川の決壊は、多くの住民に大きな被害をもたらしました。

国道4号線の草刈り作業



国道4号線の草刈り作業は、地域の安全と交通の円滑化に貢献しています。

全手塚高校記念空所蔵
手塚真直氏による5月5日



本校元職員 種田竜太郎 作

復活 権現堂の桜並木



権現堂の桜並木は、春の訪れを告げる美しい風景です。

昭和30年代の運動会



昭和30年代の運動会は、生徒たちの元気と団結を表現する大切な行事です。

敵機空襲、学校へ避難



敵機空襲の際には、学校へ避難し安全を確保することが重要です。

戦時中、校舎は自分たちで建てる



戦時中、校舎は自分たちで建てるという、生徒たちの努力と犠牲の物語です。